
会いたい

葵 景子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

会いたい

【Zマーク】

N9155A

【作者名】

葵 景子

【あらすじ】

わたしがいま、あなたにとつともか。

会って行くにはどうすれば良いんだろう?????

中3の2学期。アパートが壊されることになつて転校をした。

前の学校とは違う、何もかもが自由すぎて、なぜか私は悲しかつた。
私には何か押さえ付けるものがないと何も出来なかつた。

何かに押さえ付けられた範囲の中で生きていたかつた。

転校してもすぐには慣れなかつた。何かが違う。前と比較するのは
どうかとは思うが、何かが違つた。

そして、つらかつた。

ある日、彼からメールがきた。向こうからくるのは1週間ぶりだつ
た。

会いたいけど、距離を感じた。

会いたいと思うほど、距離を感じた。

そして、会いたくてたまなくて、涙がでていつた。

彼に会うとしたら、あと半年後だね。

会いたいけれど、会えないかもしない。

会いたいからこそ、会わないのかかもしれない。

私の事わ好きなのか、解らない。

解りたいから、会いたい。なのに、彼は。。。

会うと言う事は、実際に顔を見られる事。

けれど、私たちはもう、ずっと前から顔なんて見たくなかったのかも知れない。

半年後、会えたのは彼の友達だった。

彼は会いにこなかつた。

私が会いに行かなかつたのかも知れない。

とにかく、会わなかつた。

あんなに甘い恋をしていたのに。。。

私は今、彼を好きか知りません。
彼が私を好きなのかも、しりません。

ただ、私はあなたに会いたいんです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9155a/>

会いたい

2010年10月9日14時17分発行